

環境分野の研究を促進

環境研究推進本部

下水道研究部 下水道研究官 南山 瑞彦

河川研究部 水環境研究官 植田 彰

道路交通研究部 道路環境研究室 室長 井上 隆司

沿岸海洋・防災研究部 津波・高潮災害研究官 岡本 修

住宅研究部 住宅情報システム研究官 桑沢 保夫

社会資本マネジメント研究センター 緑化生態研究室 室長 舟久保 敏



(キーワード) 環境、地球温暖化、エネルギー、資源循環、生物、自然環境、土地利用、居住環境、景観

4.

暮らしやすさの向上

1. はじめに

国総研の各研究部・センターは、国土マネジメントに関する研究の一環として、環境に関わる研究を進めている。環境研究推進本部は、国総研が実施する各事業分野の環境研究について、情報共有と対外的発信を図るとともに、分野横断的な調査研究の推進に寄与することを目的に活動している。

2. 環境分野の研究

国総研における環境研究は多岐にわたる。現在、地球温暖化防止、省・創・再生エネルギー、資源循環利用、生物・自然環境保全、土地利用・居住環境形成、景観形成などの政策課題に対応した研究が進められており、その実施内容について適宜、関係者間で情報共有を図っている。

3. 推進本部の具体的活動

環境研究推進本部は、国総研における環境研究を、適切な機会を通じてアピールすることに取り組んでいる。その一つとして、環境研究に関わる国の施設等機関、国立研究開発法人及び国立大学法人の13研究機関が合同開催している環境研究シンポジウムにおいて、全体テーマ「持続可能な生産と消費～資源循環型社会の構築をめざして」に関する取組等に関する講演やポスター発表を行った（写真及び図）。



写真 環境研究シンポジウムでの研究紹介の様子

○講演

【下水道研究部】下水道による資源・エネルギーの創出

○ポスター発表

【下水道研究部】中小規模処理場における下水汚泥の肥料化・燃料化の推進

【道路交通研究部】自然由来重金属等含有土の活用の現状と技術的課題

【住宅研究部】先進的な建築物のエネルギー消費性能評価技術の開発

【建築研究部】新しい木質材料を活用した混構造建築物の設計・施工技術の開発

【社会資本マネジメント研究センター】河川管理による外来植物の分布拡大抑制に関する調査

【沿岸海洋・防災研究部】

生息場ネットワークの定量的手法の開発 一生態系サービスの豊かなシースケープのデザイン

【河川研究部】津波防災地域づくりにおける自然・地域インフラの活用

【都市研究部】朝型観光の推進による観光地の混雑緩和に関する研究

図 環境研究シンポジウムでの研究紹介一覧

また、所内での環境研究の情報交換を行い、研究者の知見を広めるとともに、相互交流を促し、効果的な研究推進を図るよう、研究交流会を重ねている。2017年度は「生物・生態系保全に関する調査研究」をテーマに異なる事業分野間で互いの研究紹介を行ったほか、昨年と同様「グリーンインフラ」（社会資本整備、土地利用等の面で、自然が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・地域づくりを進める取組）をテーマに、外部講師と意見交換を行い、今後の研究課題を模索する機会を設けた。

このほか、環境研究に携わる所内研究者の名簿の整備、HPによる情報発信にも取り組んでいる。

4. 今後の展開

環境研究は、防災・減災研究等と同様、国土交通省の使命である持続的な国土・社会づくりに大きく関与している。環境研究推進本部は、今後とも環境研究のあり方を追究し、本部としての新たな研究実施の検討を含め、その推進を図るとともに、広く研究成果を発信するよう努めていく。

☞ 詳細情報はこちら

環境研究推進本部HP

http://www.nilim.go.jp/japanese/organization/k_honbu/indexkankyou.htm